科目名	PA基礎実習			担当講師	田上　涼
講師実務経験	ライブハウス勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	サウンドステージ	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	ケーブルやマイクスタンド等のPAアイテムの扱い方を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業ガイダンス
2	4月24日	ケーブルについて（ケーブルの説明、巻き方、結び方）
3	5月8日	ケーブルの巻き方と結び方、マイクスタンドの立て方
4	5月15日	ケーブル巻き練習①、マイクスタンドの構造について、マイクスタンドの取り扱い方
5	5月22日	ケーブル巻き練習①、ケーブルの引き回し①、マイクスタンドを扱う練習
6	5月29日	ケーブル巻き練習①、ケーブルの引き回し②、スタンドスピーカーの扱いについて①
7	6月5日	スタンドスピーカーの扱いについて②、マイキング、各ケーブルの結線練習
8	6月12日	マルチケーブルとマルチボックスについて、立ち上げケーブルの扱い方
9	6月19日	仕込み図の見方と仕込みについて、モニター機材について、OUTについて
10	7月3日	仕込み練習①、モニター卓について
11	7月10日	仕込み練習②、PAの実践作業を経験してみる
12	8月21日	復習と定期試験対策①
13	8月28日	復習と定期試験対策②
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	楽器演習			担当講師	斎藤　康次
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	サウンドステージ専攻	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	ドラムセットやギター・ベースのセッティングを修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月17日	授業ガイダンス
2	4月24日	ドラムセットの各部名称や種類について
3	5月8日	ドラムセットの基本セッティングについて
4	5月15日	ドラムセットのセッティング実践①
5	5月22日	ドラムセットのセッティング実践②
6	5月29日	ドラムセットのセッティング実践③
7	6月5日	ドラムセットのセッティング実践④
8	6月12日	ギター、ベースの各部名称とレギュラーチューニングについて
9	6月19日	ギター、ベースのレギュラーチューニング実践　　ギターの3コードを習得
10	7月3日	ギター、ベースのチューニングとコード演奏実践①
11	7月10日	ギター、ベースのチューニングとコード演奏実践②
12	8月21日	実技テストの練習
13	8月28日	実技テスト　　試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)
	成績評価方法:B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	就職ガイダンス	担当講師	一岡　永
講師実務経験	音響会社勤務		

対象学年	1　学年	対象コース	就職対象コース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分
修　得　目　標	就職活動に向けた心得や、応募準備を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	授業ガイダンス　就職活動に対する心構え/業界職の概要
2	4月25日	映像関連職の紹介
3	5月9日	舞台関連職の紹介
4	5月16日	社会人と労働について
5	5月23日	社会人教育①
6	5月30日	自己PRについて～自己分析
7	6月6日	自己PRの書き方
8	6月13日	自己PR作成
9	6月20日	求人票の見方とポイント
10	7月4日	受験企業選定に向けた優先順位について
11	7月11日	就職活動計画について/就職希望調査書
12	7月18日	自由応募と推薦求人について
13	8月22日	就職活動の具体的な流れ
14	8月29日	社会人教育②
15		

評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価
評価	評価 修得済
テキスト	就職便覧、プリント配布
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）

科目名	時事研究			担当講師	山田　佳晴
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分
修　得　目　標	ニュース・時事問題を読み解き、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	授業ガイダンス、時事研究について
2	4月25日	直近のニュースについて①
3	5月9日	直近のニュースについて②
4	5月16日	直近のニュースについて③
5	5月23日	直近のニュースについて④
6	5月30日	直近のニュースについて⑤
7	6月6日	直近のニュースについて⑥
8	6月13日	直近のニュースについて⑦
9	6月20日	直近のニュースについて⑧
10	7月4日	直近のニュースについて⑨
11	7月11日	直近のニュースについて⑩
12	7月18日	直近のニュースについて⑪
13	8月22日	直近のニュースについて⑫
14	8月29日	講義振り返り、試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	無し
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	電気基礎			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	共通	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分
修　得　目　標	電気の基礎及び電気を安全に取扱するための知識を習得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	授業ガイダンス
2	4月25日	基礎的な電気について　電流・電圧・抵抗
3	5月9日	直流と交流とオームの法則について
4	5月16日	直列・並列及び合成抵抗　について
5	5月23日	単相2線式、周波数、実効値について
6	5月30日	電気容量計算、ジュールの法則について
7	6月6日	リアクタンス、インピーダンスについて
8	6月13日	有効電力、無効電力、皮相電力。　力率　単相交流と三相交流について
9	6月20日	単相交流と三相交流、スター結線、デルタ結線について
10	7月4日	電圧降下・電力損失について
11	7月11日	ケーブルの種類　、電線の許容電流について
12	7月18日	電気の安全な取り扱い、発電機からの電源について
13	8月22日	複線図について
14	8月29日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	14時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音響概論Ⅰ			担当講師	田上　涼
講師実務経験	ライブハウス勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	サウンドステージ	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	PAになる為に必要な基礎知識を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月18日	授業ガイダンス
2	4月25日	PAとは、音とは、耳の構造
3	5月9日	音の流れ、コネクタとケーブルについて①
4	5月16日	コネクタとケーブルについて②、スタンドスピーカーシステムのPA機材について
5	5月23日	マイクロフォンについて①
6	5月30日	マイクロフォンについて②
7	6月6日	DI、ミキサー、パワーアンプについて
8	6月13日	スピーカーについて、音の性質
9	6月20日	位相と電気について
10	7月4日	音響用語①
11	7月11日	音響用語②
12	7月18日	音響用語③
13	8月22日	音響用語④
14	8月29日	定期試験対策
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA実習			担当講師	千葉　諭/田上　涼
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	1　学年	対象コース	サウンド・ステージ	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	270　分
修　得　目　標	音響機材の名称や用途と、音響システム全体の作業内容を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月19日	実習で使用する機材、ケーブル、コネクター等の名称、用途、配置場所を確認する
2	5月10日	スピーカー、パワーアンプ等の機器の接続方法と、マイクやマイクスタンドの扱い方について
3	5月17日	音響卓、周辺機器の接続方法と、音響卓の音量調整、操作方法について
4	5月24日	音響システムの全体的なセッティング方法を確認する
5	5月31日	再生機器や、エフェクターの接続方法と、それらを使った機器の操作方法について
6	6月7日	カラオケを想定した音響システム全体のセッティング方法について
7	6月14日	少人数シュミレーション①　カラオケのセッティングを2名～3名で行う
8	6月21日	少人数シュミレーション②　カラオケのセッティングを2名～3名で行う
9	7月5日	アコースティックライブを想定した音響システム全体の設営方法
10	7月12日	少人数シュミレーション③　アコースティックライブのセッティングを2名～3名で行う
11	7月19日	少人数シュミレーション④　アコースティックライブのセッティングを2名～3名で行う
12	8月23日	楽器のマイキング①　ギター、ベース
13	8月30日	楽器のマイキング②　ドラム、キーボード、定期試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	78時間中　27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	安全概論			担当講師	久本　晃三
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	共通	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分
修　得　目　標	日本舞台技術安全協会の定める安全基準について理解し、様々な作業に潜む危険を予測できるように安全への意識を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業ガイダンス
2	5月11日	安全衛生管理の基本について
3	5月18日	現場における、事故事例の紹介について
4	5月25日	ひやり、ハット事例について
5	6月1日	作業に適した服装（靴、グローブ、衣服等）について
6	6月8日	革手袋長所、短所、ヘルメット材質、寿命について
7	6月15日	ヘルメットのかぶり方、部分名称、チェック項目について
8	6月22日	ラッシングベルト,機材の運搬（台車）について
9	7月6日	台車、安全帯について
10	7月13日	健康管理と日常生活について
11	7月20日	精神的な注意事項他について
12	8月24日	始業時の打ち合わせ他について
13	8月31日	落下、飛来落下、転倒、倒壊など危険を伴う作業他、定期試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ペン字講座			担当講師	西山　香
講師実務経験	書道教室講師				
対象学年	1　学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	45　分
修　得　目　標	きれいで美しい「ひらがな」「かたかな」「漢字」の書き方を修得し、「履歴書」の作成方法を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	「ひらがな」の書き方の練習
2	5月11日	「履歴書下書」の作成
3	5月18日	「カタカナ」の書き方の練習
4	5月25日	「漢字」（横書・熟語）の書き方の練習
5	6月1日	「横書文章」の書き方の練習
6	6月8日	「住所」の書き方の練習
7	6月15日	「常用漢字」の書き方の練習①
8	6月22日	「常用漢字」の書き方の練習②
9	7月6日	筆記試験
10	7月13日	履歴書作成①
11	7月20日	履歴書作成②
12	8月24日	履歴書作成③
13	8月31日	履歴書作成④
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない）
テキスト	
注意事項	13時間中5時間の欠席で「修得済」不可=進級ができません（留年となります）

科目名	舞台論			担当講師	竹平　耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー					
対象学年	1　学年	対象コース	スタッフ系コース		授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間		45　分
修　得　目　標	劇場の歴史や舞台の基本的な知識および設備について修得する。					

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業ガイダンス、
2	5月11日	西洋の上演芸術や劇場史について
3	5月18日	日本の上演芸術や劇場史について
4	5月25日	舞台の基本、平面・断面・寸法について
5	6月1日	幕類用吊物設備について
6	6月8日	照明用吊物設備について
7	6月15日	大道具用および音響反射板・スクリーンなどの吊物設備について
8	6月22日	舞台の床機構について
9	7月6日	舞台の照明設備について
10	7月13日	幕類・照明に関する専門用語について
11	7月20日	公演・舞台、機構・道具に関する専門用語について
12	8月24日	スタッフの種類と役割について/安全管理および労働災害防止について
13	8月31日	前期の総括および試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	13時間中　5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音響機材メンテナンス	担当講師	米谷　仁
講師実務経験	音響会社勤務		

対象学年	1　学年	対象コース	サウンドステージ	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	PA機材の基本的なメンテナンス方法を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月20日	授業メンテナンス
2	5月11日	ブロックダイヤグラムについて①
3	5月18日	ブロックダイヤグラムについて②、マイクスタンドの構造について
4	5月25日	ケーブルとは、はんだごての扱い方と練習①
5	6月1日	はんだごての扱い方と練習②
6	6月8日	はんだごての扱い方と練習③
7	6月15日	ケーブル作成①
8	6月22日	ケーブル作成②
9	7月6日	ケーブル作成③
10	7月13日	機材メンテナンスについて①
11	7月20日	機材メンテナンスについて②
12	8月24日	機材メンテナンスについて③
13	8月31日	定期試験対策
14		
15		

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中　14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	イベント概論			担当講師	横山　聡史
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	1　学年	対象コース	サウンド・ステージコース／ライティングコース	授業形態	講義
期　間	前期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	90　分
修　得　目　標	イベントの知識とスタッフの役割、企画・運営等の基礎をを修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日	授業概要の説明。 目標設定と様々なものに関心や興味を持つことの大切さを学ぶ。毎週ニュース発表必須。
2	5月12日	イベントとは何か。 イベントの定義と一般的な運営組織図、企画の重要性を学ぶ。
3	5月19日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 。 1回目（ディレクター）
4	5月26日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 。 2回目（PA・レコーディング）
5	6月2日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 。 3回目（照明・映像）
6	6月9日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 4回目（プロデューサー）
7	6月16日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 5回目（主催者、後援、協力、協賛）
8	6月23日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 6回目（MC）
9	7月7日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 7回目（会場選定の条件、会場との折衝）
10	7月14日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 8回目（イベントの広報）
11	7月21日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 9回目（メディアとインターネット、各種SNS）
12	8月25日	企画の必要性。 どの立場であっても考え、準備する必要性を学ぶ。
13	9月1日	イベントに関わる心得。 最低限必要な心得、プライオリティを学ぶ。
14		
15		

評価方法	定期試験（筆記試験）100%、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	成績評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	26時間中　9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	文書デザイン（選択授業）			担当講師	熊谷めぐみ
講師実務経験	広告会社勤務・現フリーランスライター				
対象学年	1　学年	対象コース	サウンド・ステージコース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	5　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	Word・エクセルを中心にPCの初歩的な基本操作を習得する。を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	7月7日	授業ガイダンス PC操作・Wordの基本的な操作・文書作成
2	7月14日	Wordによるビジュアル文書の形式・作成 文書作成を行いながら、文字装飾や段組み、表や図の挿入・編集、ページ罫線を学ぶ
3	7月21日	Wordによるビジュアル文書の形式・作成 1、2回で学んだことを生かし、指定した文書を制作する
4	8月25日	Excelの基本機能と操作を学ぶ Excel：よく使用する関数の習得
5	9月1日	Excelの様々な関数（桁数処理関数、論理関数、関数のネスト等）を習得し、問題を解く
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 成績評価方法：C
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	15時間中　6時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択　DTM実習			担当講師	作山　厚
講師実務経験	DTM・ベース講師経験　／ 楽曲配信・BGMサイト楽曲提供				
対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	サンプルファイルを活用したビート制作
2	5月26日 6月2日 6月9日	ピアノパートとベースの打ち込み
3	6月16日 6月23日	シンセサイザーVを使用した歌メロ入力
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	PA実習（選択）			担当講師	久本　晃三
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	共通	授業形態	実技
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱いを修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	オリエンテーション、ケーブル巻き
2	5月26日 6月2日 6月9日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い
3	6月16日 6月23日	PAセットを組んで音を出してみる。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択　REC実習			担当講師	金沢琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	レコーデイング業界とレコーディングエンジニアという職業を理解し修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	スタジオワークを理解し、レコーデイングエンジニアの職種を理解する。
2	5月26日 6月2日 6月9日	ブース内(ドラム・ベース・ギター)にマイクセッテイングをし録音作業を行う。
3	6月16日 6月23日	デモ音源を使いトラックダウンを行う。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	修得済」評価(点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	選択　ヴォーカル実習			担当講師	吉田佳代
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域)　歌唱法(ミックスボイス)
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域)　歌唱法(ビブラート)
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	選択　ギター実習			担当講師	川畑統正
講師実務経験	ギタリスト / ヤマハ認定講師				
対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	ギター演奏の基本技術と知識の修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ
2	5月26日 6月2日 6月9日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲
3	6月16日 6月23日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない）
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択　テレビ番組制作			担当講師	田端　優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	各コース	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的知識と技術を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス～番組制作の現場について
2	5月26日 6月2日 6月9日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について
3	6月16日 6月23日	テレビスタジオで番組の収録を行う
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	資料配布
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択 ドラム実習			担当講師	岸林大輔
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師				
対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	Dr.Set、リズムの基本を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	Stick Control&Foot リズムスタイル
2	5月26日 6月2日 6月9日	リズムスタイル#2、Fill-In
3	6月16日 6月23日	リズムスタイル#2、Fill-In、エチュード演奏、まとめ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	選択　ベース実習			担当講師	木村圭子
講師実務経験	ベーシスト				
対象学年	1　学年	対象コース	実習選択者	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域)　歌唱法(ミックスボイス)
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域)　歌唱法(ビブラート)
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	照明実習（選択）			担当講師	鈴木　雅光
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1　学年	対象コース	共通	授業形態	実技
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分
期	修　得　目　標				
前期	『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種と他の職種との関わりを修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス。照明という仕事について。音楽と照明について
2	5月26日 6月2日 6月9日	仕込みからシュートまでについて
3	6月16日 6月23日	光の演出効果について
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	文書デザイン（1期）			担当講師	熊谷めぐみ
講師実務経験	ライター				
対象学年	1　学年	対象コース	選択	授業形態	実習
期　間	前期	総授業回数	3(2)　回	1回あたりの授業時間	135　分
修　得　目　標	Word,Excelを中心に PCの初歩的な基本操作を修得する。				

回数	日程	【授　業　計　画】
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス PC操作・タイピングの基礎・Wordの基本的な操作
2	5月26日 6月2日 6月9日	Wordにて、ビジネス文書の形式、文字修飾、表・図形の挿入と編集を学ぶ
3	6月16日 6月23日	Excelにて、資料の作成や初歩的な関数等について学ぶ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価
評価	「修得済」評価（点数評価は行わない
テキスト	
注意事項	9(6)時間中　4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）